

令和6年3月12日

保護者様

京都市立翔鸞幼稚園  
園長 平松 美和

## 幼稚園評価の結果について

いよいよ、年長児が修了を迎える季節となってきました。保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本園の保育・教育にご支援ご協力賜りありがとうございます。

2月21日に行われました生活発表会では、子ども達が大好きな日々の遊びを劇あそびにしたり、友達と一緒に声を合わせて歌ったり、リズムにのりながら楽器遊びをしたりする姿を見ていただきました。生活発表会当日に至るまでの日々の遊びの中で子ども達は様々なことを学び、友達とのつながりを深めていく姿が見られました。当日は、温かい眼差しで子ども達の様子を見守っていただき、本当にありがとうございました。

さて、先日実施しました幼稚園評価にご協力いただき、ありがとうございました。評価アンケートの結果をグラフ化し別紙にまとめましたのでご覧ください。全体的には、「幼稚園・教職員の様子」と「小学校や地域との連携」「その他（預かり保育）」の領域でおおむね良い評価をいただいています。「子どもの様子」につきましては、自分のお子様についての評価ですので、多少、ばらつきがあります。

### 【子どもの様子】

2「自分から遊びを見つけて、元気よく遊んでいる」3「自分でできることは自分の力でやろうとする」・8「色々なことに興味を持って聞いたり行動したりする」・9「すごいね、ふしぎだね、えー？やったーなど感動している」10「子どもは相手を意識したり思いやりする方向に発達していつている」の項目に関しては「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が合わせて100%でした。

※この結果は、子どもたちが幼稚園で心を動かしながら主体的に遊んでいるからこそだと考えます。自由な遊びを通して、子どもたちは『“ときめき”と“ひらめき”』を繰り返しながら、まさに非認知能力を育んでいます。その姿を私たちは、「子どもたちがただ遊んでいるだけ」ではなく、具体的にどのような力を育んでいるのかを皆さまにお伝えし、共有していきたいと考えています。翔鸞幼稚園のHPやインスタで遊びの様子を発信したり、園庭側の門近くのフェンスに『ときめき・ひらめきエピソード』を毎月掲示したりしていますので、どうぞご覧ください。

1「登園を楽しみにしている」・5「友だちや物などを大切にしようとしている」・6の「人の話を聞こうとしている」・7「自分の思いを話そうとしている」の項目に関しては「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が合わせて90%以上でした。

※子ども達が園生活に慣れ親しみ、安心した気持ちですごくしているからこそ人との関わりが増え、色々な人や物と出会い、「大好き」になる経験を積み重ねてきているのだと考えます。反面、7の項目に関しては前期評価よりもA評価が減少しています。子どもにとって、自分の心の中の思いを言葉にして話すことはとても難しいことです。言葉になりにくい心の声を大人がくみ取りながら、少しずつ子ども自身の言葉で相手に伝えられるように援助していきたいと思ひます。

4「まわりの人にあいさつができています」の項目では、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が80%、「あまりそう思わない」は20パーセントでした。

※この項目は、毎回ポイントが低目なのですが、園内にお客様がいらっしゃった際には、子ども達の方から積極的にご挨拶をする姿が多く見られるようになってきました。その姿を認めながら、色々な場面で子ども達から気持ちよく挨拶できることが“当たり前”になっていくよう関わっていきたいと思います。

#### 【幼稚園・教職員の様子】

すべての項目において、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を合わせて100%の評価をいただきました。

中でも13「教職員は明るい笑顔で保育したり子どもに関わったりしている」と14「先生は、子どもにメリハリのある保育をしている」の項目では「そう思う」の回答が100%でした。

※回答の結果に甘んじることなく、子どもの心に寄り添った、丁寧な保育をしていきたいと思います。保育の在り方、子どもたちの様子、子育てで気になることや困っていることなどがありましたら、遠慮なく相談してください。保護者の皆様と幼稚園が協力し合って子どもたちを育んでいきたいと考えています。

#### 【小学校や地域との連携】

それぞれの項目で「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を合わせて100%でした。

※今年度は4年ぶりに例年通りの行事（苗屋さん・夏祭り・もちつき大会）を行うことができました。地域の皆様やPTAの皆様のお力を貸していただいたおかげで、子ども達にとって大変学び多き、豊かな経験につながりました。本当にありがとうございました。来年度は園児数が減少傾向のため、取組内容については検討していきたいと思います。今年度から二年間“架け橋プログラム実践研究園”として翔鸞小学校と連携接続をとりながら、架け橋期の子どもたち（年長児から1年生の二年間のことを架け橋期と言います）にとって、互いにどのような教育をしていくことが大切なのか、そのための教師の役割について考え、実践しています。11月には5歳児と5年生が交流活動を行い、安心した気持ちで就学前検診に参加する姿が見られました。次年度は更に架け橋の取組みを充実させていきたいと考えています。「架け橋は何のためにするのか。それは、子ども達の安心のためにするのです」この思いを小学校の先生方と共有し、令和6年度も取り組んでいきたいと思ひます。

#### 【その他（預かり保育等）】

全ての項目において「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が100%でした。

※これからも、子どもたちも保護者の皆様も安心した気持ちで預かり保育を利用していただけますよう、温かい雰囲気の中で丁寧に保育させていただきたいと思います。何かご心配なことがありましたら、いつでもお知らせください。

◆自由記述欄につきまして、生活発表会での様子や、普段のお子様の成長やクラスの子どもたちの成長を喜んでくださっていたり、園の教職員に温かいお言葉を添えていただいたり、園として感謝の気持ちでいっぱいになりました。本当にありがとうございました。今後とも気付かれたことやご心配なことは、いつでも気軽にお話しいただければありがたいです。よろしくお願いいたします。